

ユニオン 北九州

NEWS 87号

2010年2月20日

誰でも一人でも
入れる労働組合



北九州市小倉北区
金鶏町2-1-103
☎093-653-2069 fax093-863-7620
E-mail
union-k@joy.ocn.ne.jp

◎当面の スケジュール

2・3月

- ◎ 20日／全労協・西日本春闘討論集会
- ◎ 21日／北九州
- ◎ 23日／新東・損害賠償裁判判決、狭山定例小倉駅前情宣、2・12集會総括會議
- ◎ 25日／福岡入管・意見交換會
- ◎ 27日／福岡都市圏支部組合員會議
- ◎ 28日／九建団交

- ◎ 3月2日／築城基地座り込み
- ◎ 6日／全国一般中央執行委員會、労働法学習會（福岡びおとろふ）、AWC會議
- ◎ 7日／マーチンマーチ（福岡）
- ◎ 8日／北九州市への申入れ（ALTT問題）
- ◎ 13日／北九州支部組合員會議
- ◎ 21日／第6回執行委員會

2.15 職場復帰についての団交を拒否しながら、2名の組合員へ休職期限を理由に一方的退職通知を強行！



労働時間を違法性を団交の場で会社に資料提出を迫るなどしていた矢先、2009年1月「偽装請負」の元請山九トランスポートと会社はぐるになり、三井化学での安全確認ミスを理由に、連続運行による過重労働をさせていた責任を

ほっかむりし、組合員を取り囲み追及するなどの攻撃を開始しました。ストライキと偽装請負追及

協同運輸は、「定額残業制」という名の下、29万円の給料で100時間から150時間を超える残業・拘束時間が常態化していました。超長時間労働に疲れ果てていた2名の乗務員は、残業代などに疑問をもち、2008年8月組合に加入、分



会を結成し、会社との間に交渉を行ってききました。会社は数々のいやがらせや組合攻撃を繰り返してききましたが、有給休暇を協定化し取得できる環境をつくるなど、一定の前進を勝ち取ってききました。

デタラメな「定額残業制」の中、労働組合を結成！

声明 全国一般北九州合同労働組合（ユニオン北九州）執行委員会

協同運輸（水巻町）の暴力的組合つぶしと全面对決を！



の反撃にひるんだ会社は攻撃を停止せざるを得ないところに追い込まれました。

偽装請負隠しII賃金の不利益変更を許さないぞ！

その後、山九トランスポートは、偽装請負の追及から逃れるために、協同運輸との契約を「月間請負契約」から「スポット」に変え、配車指示も協同運輸に移しました。

同時に会社は、これまでの「定額残業」を「歩合制」に変える方針を出しました。身勝手に固定給から歩合給に変えようとしたのです。

組合は、4月10日の団交で、前にも賃金体系を変えざるを得ない経営・財務状況について説明を要求し、納得できれば応じる可能性も示唆して、誠実な交渉を要求しました。また合理的理由もなく、組合との同意もなく一方的な賃金変更は、不利益変更にあたるとし、一方的な変更を行わないように申し入れを



しました。

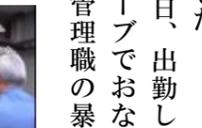
5月以降、組合員の賃金はそのまま経過してきましたが、会社は組合員の排除をねらういじめや

支配介入の暴力的策動を強めていたのです。社長は組合員に「給料ドロボー」と言い、「草むしり」もさせました。

安全会議での弾圧に48時間ストで対抗

そして8月28日安全会議で、ついに藤村兄弟（社長・統括部長）と管理職・非組を総動員したつるしあげが起きました。「自分たちだけで賃金に合意せんのか」、団交で協議中じゃないか、という組合員に「団交なんかするか」と社長が言います。

この事態に組合は抗議を申し入れし、9月17日・18日の48時間ストで対抗、抗議集會を開き、8月28日に組合員を攻撃した非組を追及する反撃を行いました。



翌18日会社管理職は、組合員に直接電話で脅迫を行いました。

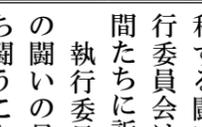
連休を挟んで9月25日、出勤した組合員に（ユウ・チューブでおなじみの場面です）社長・管理職の暴力的脅迫事件がおきます。組合は安全就労が出来るまいと判断し、ストライキを通告しました。

会社の団交拒否を許さないぞ！元請ユーザーへの申し入れ、情宣・労働委員会にも取り組む

ストライキ・有給休暇で迎えた10月5日団交で、組合側は謝罪等とはりあえず棚上げにし、事態收拾のために「就労に対する安全保障協定」の締結を要求しますが、会社は口頭で安全保障をする、というものの確認書の締結を拒否し、以降、いろいろなる理由や勝手な言い分をつけて団交拒否に入りました。

2名の組合員は一連のいやがらせと9・25ショックが「恐怖」となり、心療内科から「単一恐怖症」「適応障害」と診断されました。病気で欠勤という状態になり、11月半ばから休職となりました。

組合と当該は団交による事態解決のための話し合いを要求しながら、さらには抗議行動を拡大し、偽装請負の元請・山九トランスポートへ交渉と争議解決協力要請行動を行い、主要な荷主である信和鋼板に対しても争議解決協力要請行動を行いました。



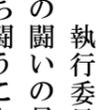
また、信和鋼板での作業を中心としてトレーラーの積載違反等に対して摘発を行うなどの闘争を強めてきました。日常的抗議情宣活動も展開し、社前抗議集會・水巻町デモなども波状的に闘ってきまし

た。

2月17日、一方的な退職通知を強行する

しかし会社は、ついに2月17日、「退職通知」を強行し、また組合に対して「退職」という事態の中で団交内容を再検討しろ」などと回答してききました。

自らの身勝手な賃金体系や超長時間労働を強要するために、暴力的弾圧によって労働者をむしばんでおきながら事態の解決に向けて背を向けるばかりか、開き直る協同運輸経営・藤村兄弟を断じて許すわけにはいかない。このような経営者を野放しにするのは社会に多くの被害を拡大することになる。必ず謝罪と要求実現を勝ち取り、協同運輸闘争に勝利する闘いに総決起することを、執行委員会が全組合員と共闘支援の仲間たちに訴えます。



執行委員会は、その闘いの最先頭に立ち闘うことを改めて決意するものです。

今年もがんばろう！

